

学科 学年	3年	科目 分類	国語 Japanese	講義 必須	20通年 2単位	学習教育 目標 D	担当	神田 朝美 KANDA Tomomi
概要	さまざまな文章の意味するところやその著者の意図を解釈して自分の中に取り込み、事物・人物に対する客観的視野を培う。その上で、自己の位置付けを行うことにより自分の進むべき方向性への認識を持ち、それをアピールする技術力・能力を養う。							
科目目標 (到達目標)	さまざまな「国語」表現による 他者の意見・意図を正しく理解する		適切な「国語」表現によって 自己の知識・見解を正確にアピールする					
教科書 器材等	プリントテキスト配布							
評価の基準と 方法	期末試験 + 講義内小テスト + 課題 + 授業への姿勢（スピーチ、グループ・ワーク等）							
関連科目								
<b>授業計画</b>								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		オリエンテーション 講義の進め方						
第2回		(導入) 森山卓郎『表現を味わうための日本語文法』より						
第3回		私たちの「国語」である日本語の、表現のおもしろさ・難しさを考える						
第4回		～理解する～						
第5回		新聞記事						
第6回		批評文						
第7回		・大岡信の文章を中心に						
第8回								
第9回		小説・エッセイ						
第10回		・川端康成の文章を中心に						
第11回								
第12回		研究者の論文						
第13回		・学術論文案内						
第14回								
第15回	×	前期末試験						
第16回		～表現する～						
第17回		国語表現の変遷						
第18回		・“日記”を例として 古典からブログまで						
第19回								
第20回		文章作成のTPO						
第21回		・自己アピール						
第22回		・エッセイ						
第23回		・批評文						
第24回								
第25回								
第26回		詩の世界 芸術と思想						
第27回								
第28回		論文・レポートの書き方 科学的表現方法						
第29回								
第30回	×	後期末試験						
オフィス アワー	水曜日・木曜日							
授業アンケート への対応	文学鑑賞にとどまらず、理系学生に必須の学術的レポート・論文等への理解力を養うことを中心として学習する。また、自らレポート・論文を作成し、プレゼンテーションを行うなどの実践を積めるような構成で講義を進める。							
備考								
更新履歴	20080314 新規							